

第9回（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

日時：令和5年3月20日（月）

13時30分から

会場：磐田市役所本庁舎4階大会議室

次 第

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議事

（1）ワークショップの振り返り

（2）今後のスケジュール

（3）委員の交代

4 閉会

第9回(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

座席表 令和5年3月20日(月)13:30～ 大会議室

<p>委員長 (静岡大学学長) 日詰 一幸</p>		<p>副委員長 (自治会連合会会長) 村上 勇夫</p>		<p>司 会</p>
<p>自治会連合会 副会長 星野 秀次郎</p>			<p>公募委員 飯田 佳一</p>	<p>事 務 局</p>
<p>竜洋住みよいまちづ くり協議会 会長 藤田 允</p>			<p>公募委員 阿部 俊典</p>	<p>事 務 局</p>
<p>豊岡中央地域づくり 協議会 会長 青野 博美</p>			<p>NPO法人いきいき・ いわた 理事長 村田 建三</p>	
<p>NPO法人磐田まちづ くりネットワーク 代表理事 三輪 邦子</p>			<p>地区社協等連絡協議会 会長 高田 一良</p>	
<p>長野交流センター センター長 両角 真利</p>		<p>社会福祉協議会 会長 長谷川 トキ</p>		

(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会 市民ワークショップ進行表

(目的)

- ① 協働のまちづくり基本条例を知ってもらう
- ② 磐田市の現状を知り、これからの磐田市を地域住民として考える必要性を感じる
- ③ 「市民自治」の必要性を知る・考える
 - ※「プロジェクト策定→実行」ではなく、ゆっくりと市民が地域課題に対する意識を持つ気持ちを育む
 - ※(キーワード) 市民自治、市民参加、協働から総働、対話

第1回 9月30日(金) 19:00~21:00	第2回 11月24日(木) 19:00~21:00	第3回 1月26日(木) 19:00~21:00
(目標) ・協働のまちづくり基本条例を知る ・条例の役割を身近に感じてもらう	(目標) ・やるべき「協働」を考える ・「市民自治」を知る	(目標) ・今後の市民参加の意識を広げる ・今回の関わりこそが「市民自治」と感じる
WS テーマ 「磐田市ってこんなところ～自分の住んでいるまちを見直そう～」 ※自分だけの目線から他者の声を聴くことで新しい磐田市に気づくこと ※多世代交流の必要性を感じる →誰もがまちづくりの参加することを実感 (小さな関わり大切さ)	WS テーマ 「課題を解決するために行政・市民・一緒にやれることを見つけよう！」 ※事例を用いて、「一緒にやれること」「自分たちでやれること」を多方面から考えるクセづけ	WS テーマ 「協働から総働のまちづくりって何だろう? ～対話を重ねることの必要性～」 ※今回の多くの人の関わりを次に広げる ※少しの参加の必要性や楽しみを自分ごとへ
(情報提供) 日詰学長(委員長) 「磐田市協働のまちづくり条例って何だろう?」 ※策定の流れと今後の計画	(情報提供) 阿部委員、飯田委員 「磐田市の現状とこれから」 ※人口減少社会の今後を自分ごとにする 牧之原市の事例 「市民自治の必要性」 ※市民参加の必要性を実践から感じ取る	(情報提供) 三輪センター長(委員) 「市民活動センターの役割」 ※磐田市民の活動を伝える

主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

第1回 いわたまちづくりワークショップ

報告

1 ワークショップの概要

（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会が主催となって、第1回 いわたまちづくりワークショップを開催しました。

ワークショップには、中学生、高校生、大学生、子育て世代のパパママ、働きざかりの方々など、幅広い世代の皆さんに、主催者である条例策定検討委員が加わり、あわせて49名が参加。

第1回は、「まちづくり条例を知っていただくこと」、「条例の役割を身近に感じていただくこと」が目標でした。「磐田市はこんなところ、自分の住んでいるまちを見直そう！」をテーマに、自分だけの目線から他者の声を聞くことで新しい磐田市に気付いていただくこと、まちづくりに際し小さな関わりの大切さなどを感じていただくこと、多世代交流の必要性を感じていただくことができました。

開催日時：令和4年9月30日（金）19時～21時

開催会場：磐田市役所西庁舎3階会議室

参加対象者：応募者46名（うち男性27名・女性19名）

委員10名（うち男性7名・女性3名）

2 ワークショップの流れ

- 参加者を10グループ（1グループ5名程度）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（MUSUBI代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 条例策定検討委員会の委員長からの情報提供
「磐田市協働のまちづくり条例って何だろう？」～条例策定の流れと市民の関わり～
- 自己紹介
- 話し合い「磐田市の良いところ」と「磐田市の変化が欲しいところ」
- 発表
- まとめ

3 ワークショップの様子





これ以下、各グループの模造紙

A

まちなじまん

- しゃべりがいじこ30
- 歴史的な建物
- ひうたん池
- 見付宿
- 自然が豊か
- 水車の里
- 歴史的建造物がたくさんある。
- 公園が多い
- ゴミブリット
- 駅が2つある(近く)

まちの整備

- 交通インフラの充実(バス)
- 街灯の設置
- まちに住民が住みやすい
- まちがさびしい
- 馬込前のゴミが
- 公共施設の活用
- 通学路の危険箇所を整備してほしい

人から

- 親しみやすい
- 犯罪が少ない
- 積極的にあいさつしてくれる。返している

特産物

- 特産物がたくさんある
- 食べ物おいしい

スポーツ

- スポーツが盛ん
- スポーツが盛ん
- ジゴロ磐田があるホームタウン
- スポーツが盛ん
- サッカーが盛ん
- フットボールが盛ん

磐田市のじまん

- 市長が若い

磐田市の特ちょう

- 外国人の方が多い(多文化)
- 学業のレベルが充実している
- 真外と何とでも通じている(店、文化、音楽)
- 子育てレベルが充実している

磐田を有名に

- 発信力
- もっとPRしたい

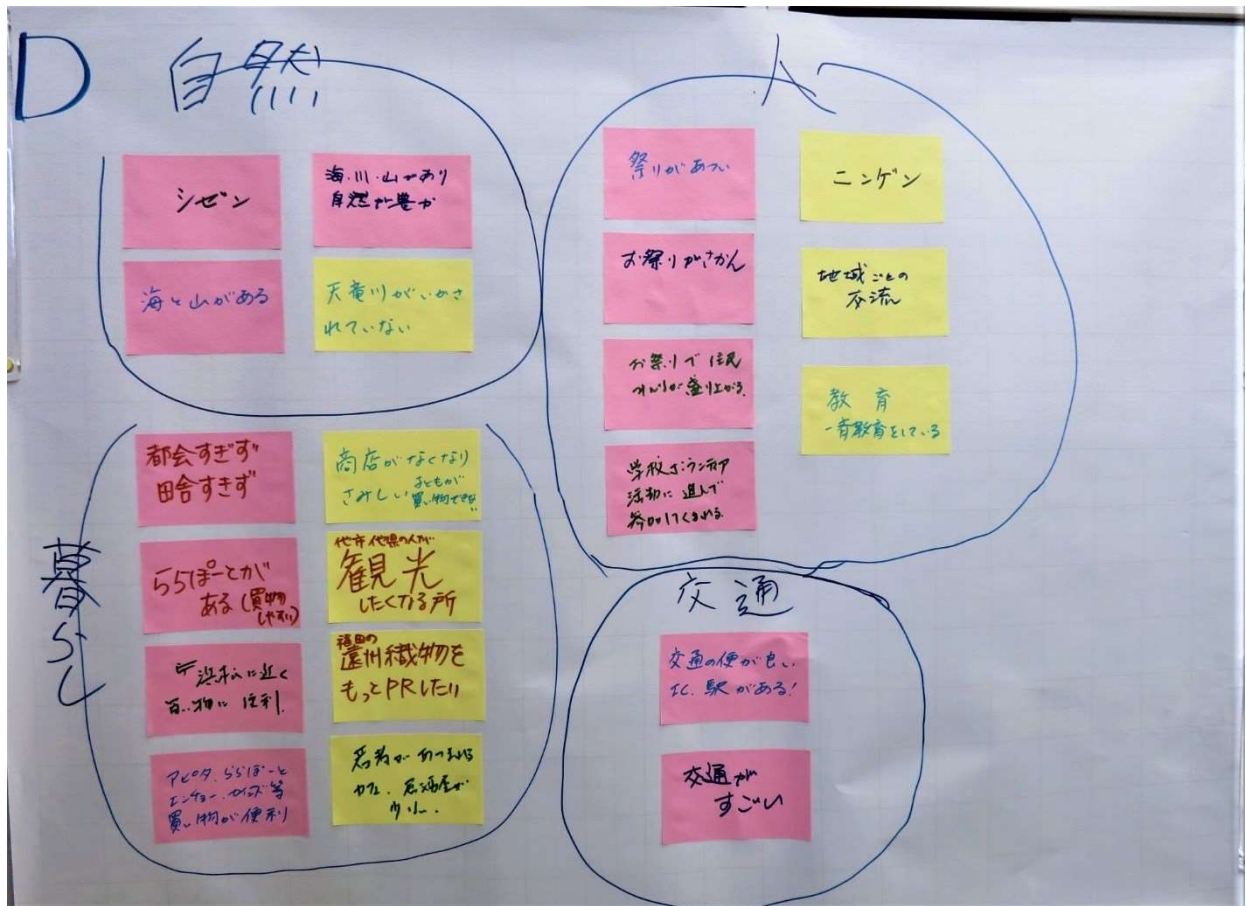
市民と連携

- サッカーが弱い
- 市民のジゴロサポーターをみんな応援
- 市民全員で地元スポーツを応援

市民のつながり

- 役員を学んでやれる方法
- みんなの子育てを応援してあげたい
- 近所づきあいのつながり
- 世代交流の場づくり

D



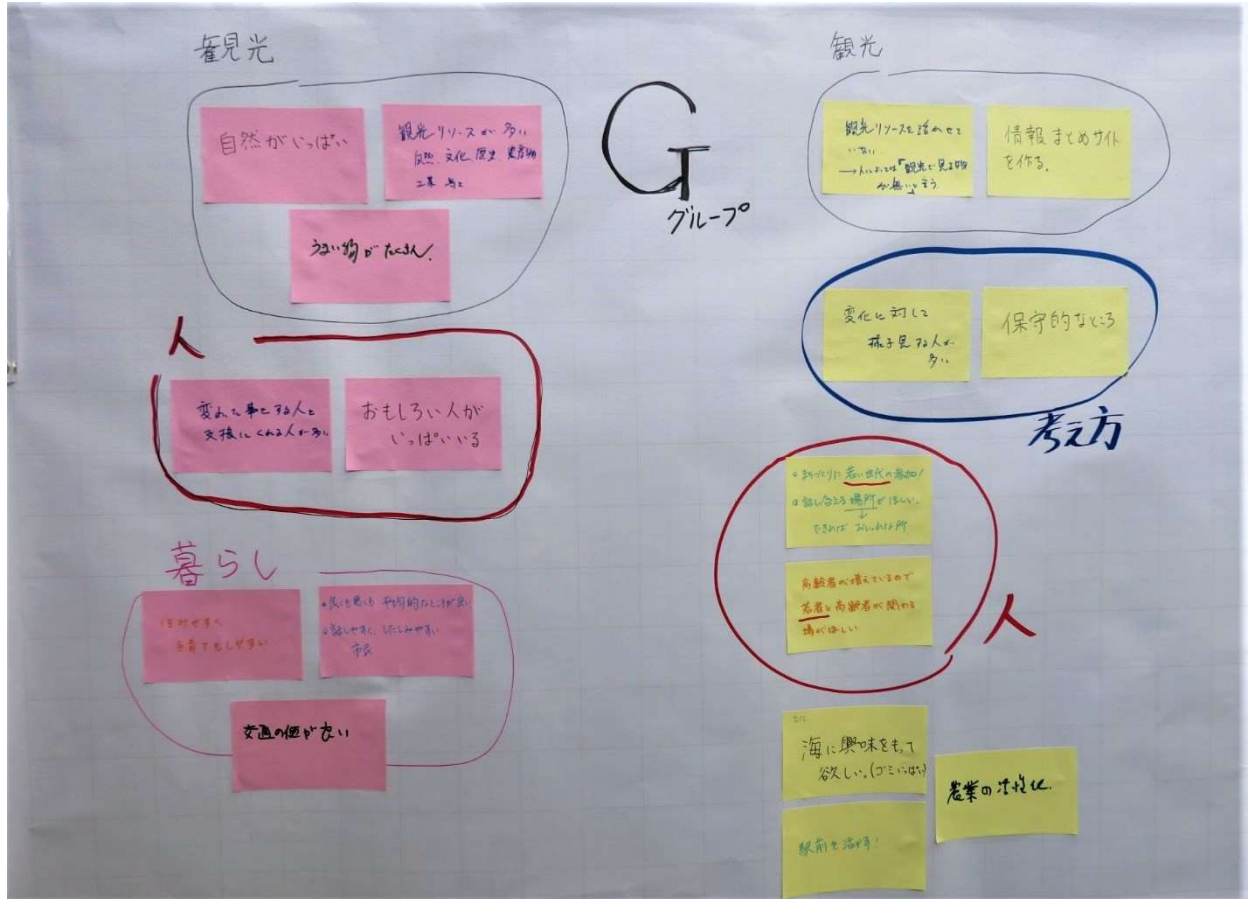
E



F



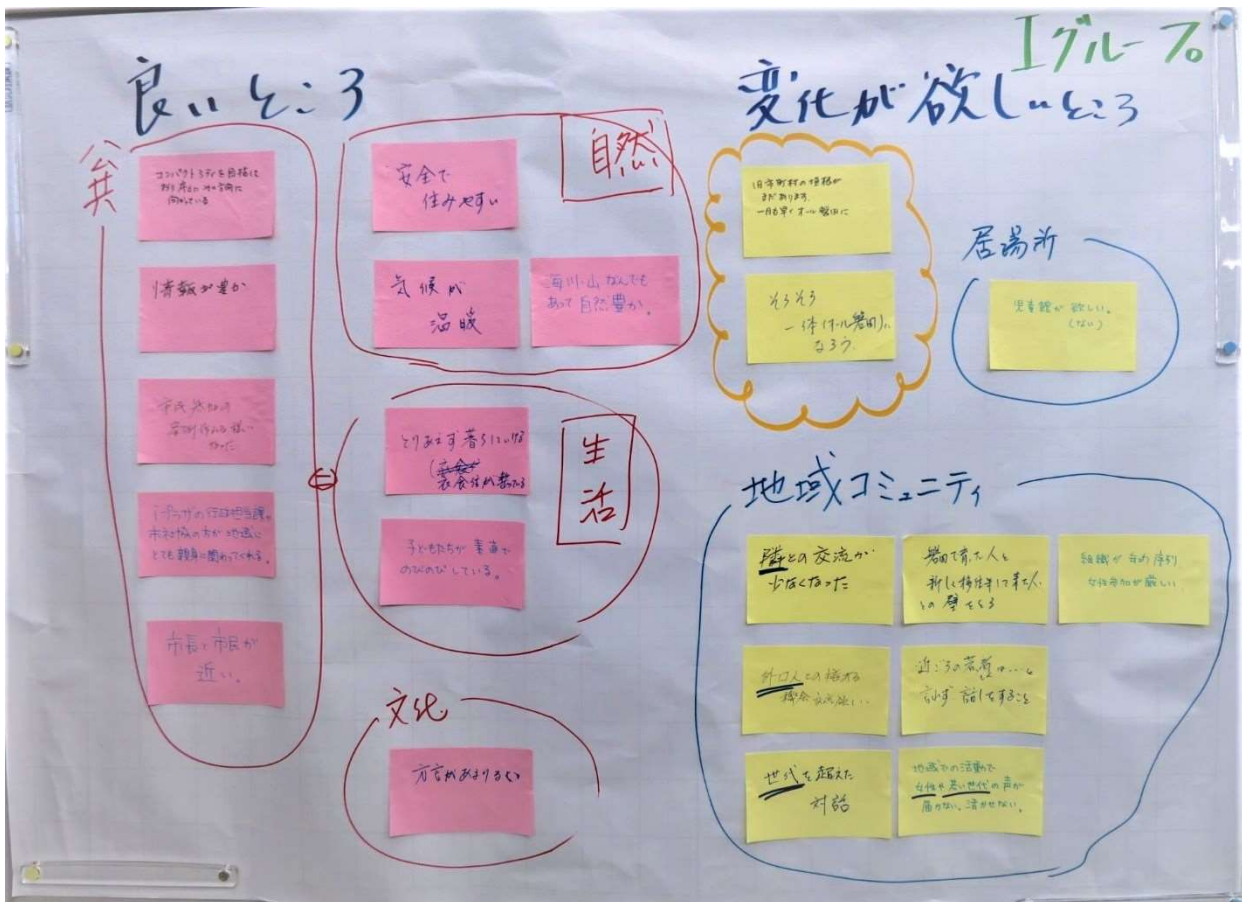
G



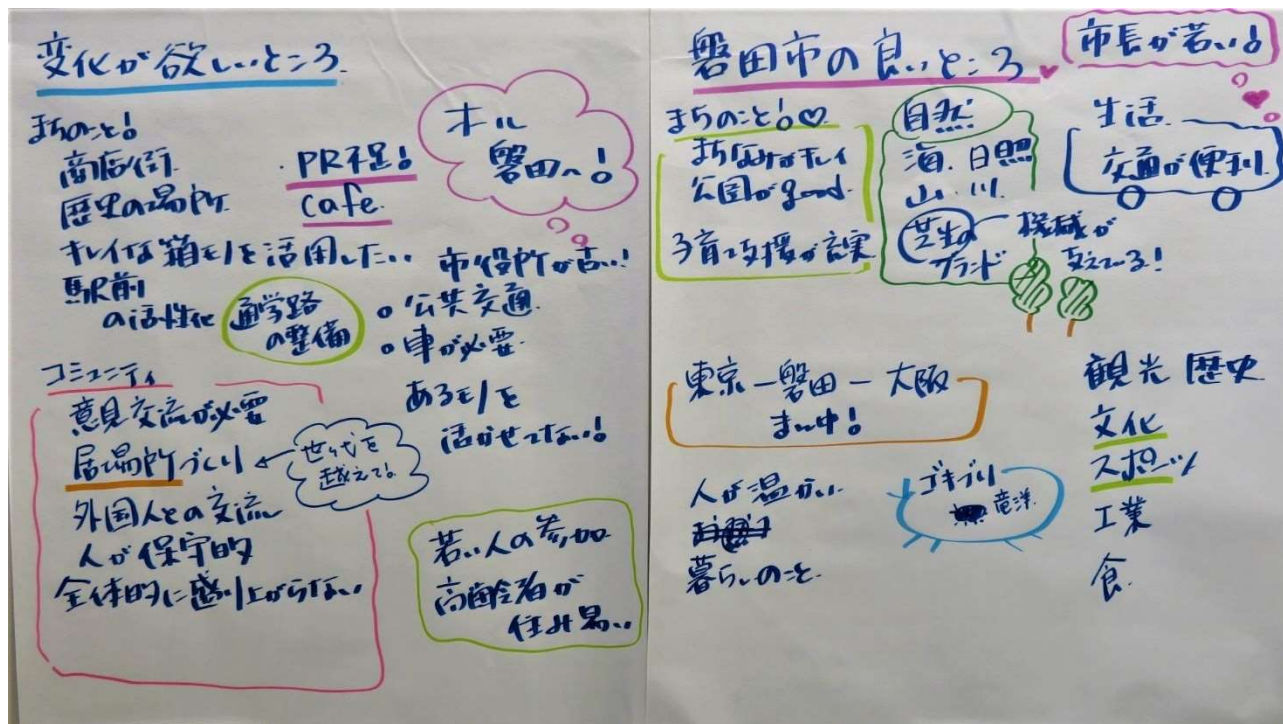
H



I







4 今後について

令和4年10月21日（金）10時から、第7回（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会を開催し、第1回いわたまちづくりワークショップの振り返りを行います。

第2回いわたまちづくりワークショップの開催日時等は以下のとおりです。

開催日時：令和4年11月24日（木）19時～21時

開催会場：磐田市役所西庁舎3階会議室

開催概要：目標；「やるべき“協働”を考える」、「“市民自治”を知る」

テーマ；「課題を解決するために市と市民が一緒にやれることをみつけよう！」

情報提供；「磐田市の現状とこれから」（条例策定検討委員より）

話し合い、発表、まとめ

事務局：磐田市地域デザイン推進室





主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

第2回 いわたまちづくりワークショップ

報告

1 ワークショップの概要

（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会が主催となって、第2回 いわたまちづくりワークショップを開催しました。

ワークショップには、中学生、高校生、大学生、子育て世代のパパママ、働きざかりの方々など、幅広い世代の皆さんに、主催者である条例策定検討委員が加わり、今回はあわせて47名が参加。

第2回は、「やるべき“協働”を考える」、「“市民自治”を知る」が目標でした。「課題を解決するために市と市民と一緒にやれることを見つけよう！」をテーマに、「新しい公園を作ろう！」を題材にして、自分がやれることから自分たちがやれることを、多方面から考えてもらうことで、市民自治の必要性を感じてもらいました。

開催日時：令和4年11月24日（木）19時～21時

開催会場：磐田市役所西庁舎3階会議室

参加対象者：応募者46名（うち男性27名・女性19名）

委員10名（うち男性7名・女性3名）

2 ワークショップの流れ

- 参加者を10グループ（1グループ5名程度）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（MUSUBI代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 条例策定検討委員会の委員からの情報提供
「磐田市の現状とこれから」～人口減少社会の今後を自分ごとにする～
- 自己紹介
- 話し合い「自分の関わりから自分たちの関わりに（ワーク：新しい公園を作ろう!）」
- 発表
- まとめ

3 ワークショップの様子





これ以下、各グループの模造紙

A

計画

- 他所の公園を調べる
- どんな公園か、どこか、アートを取る
- 公園の名前をぼかす
- 木を植える
- 自給花だんをつくることを目指す

維持管理・つる

- イベント企画
- 運搬場の整備
- 嫁の保護
- 子供遊具の確保
- 作業の手配
- 維持管理(草刈り、水不足)の手配
- ドレンや排水口の掃除
- 動物舎中心にある広場を作りたい
- 安全に子供や大人、高齢者が介抱できるような場所を作りたい
- 遊具を2022年くらいまで決めて決めたこと
- 安全安心の場
- 地元の木材を使ってみんなの遊具をDIY!!
- 芝がある

使い楽しむ

- 新しい公園を楽しむ
- 多目的用途で活用できる
- 若年層が来やすく活用できる
- インターネットで兄弟や友達を呼ぶ
- 自家で作った野菜を持ち寄り、無料のランチ作り
- 近所のお祭り
- 市民の場としての場
- イベント
- これは、新しい公園のありか(異年齢)企画をどうするか

PR

- 新しい公園をPRする(写真)
- SNSなどで発信!

A 愛着を育てよう

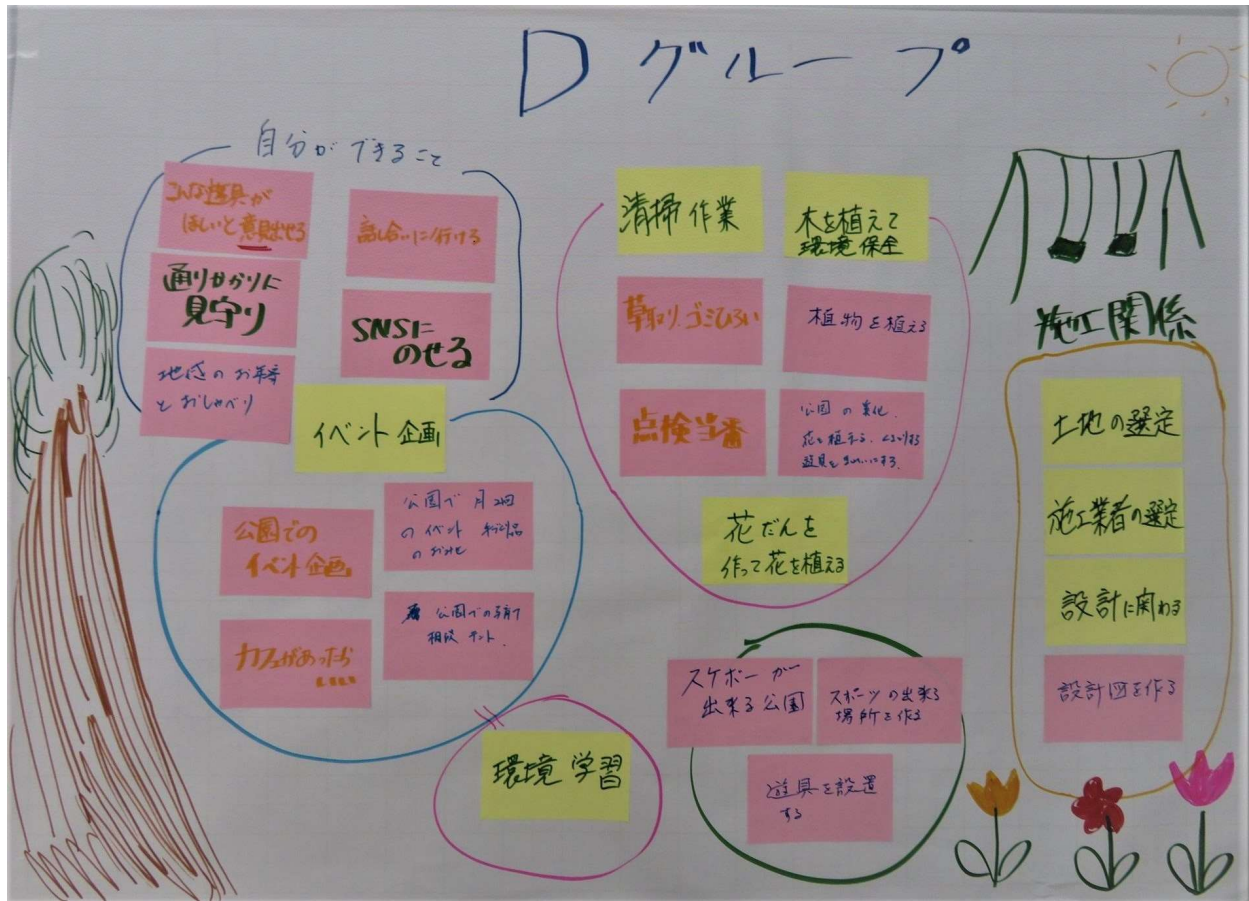
B



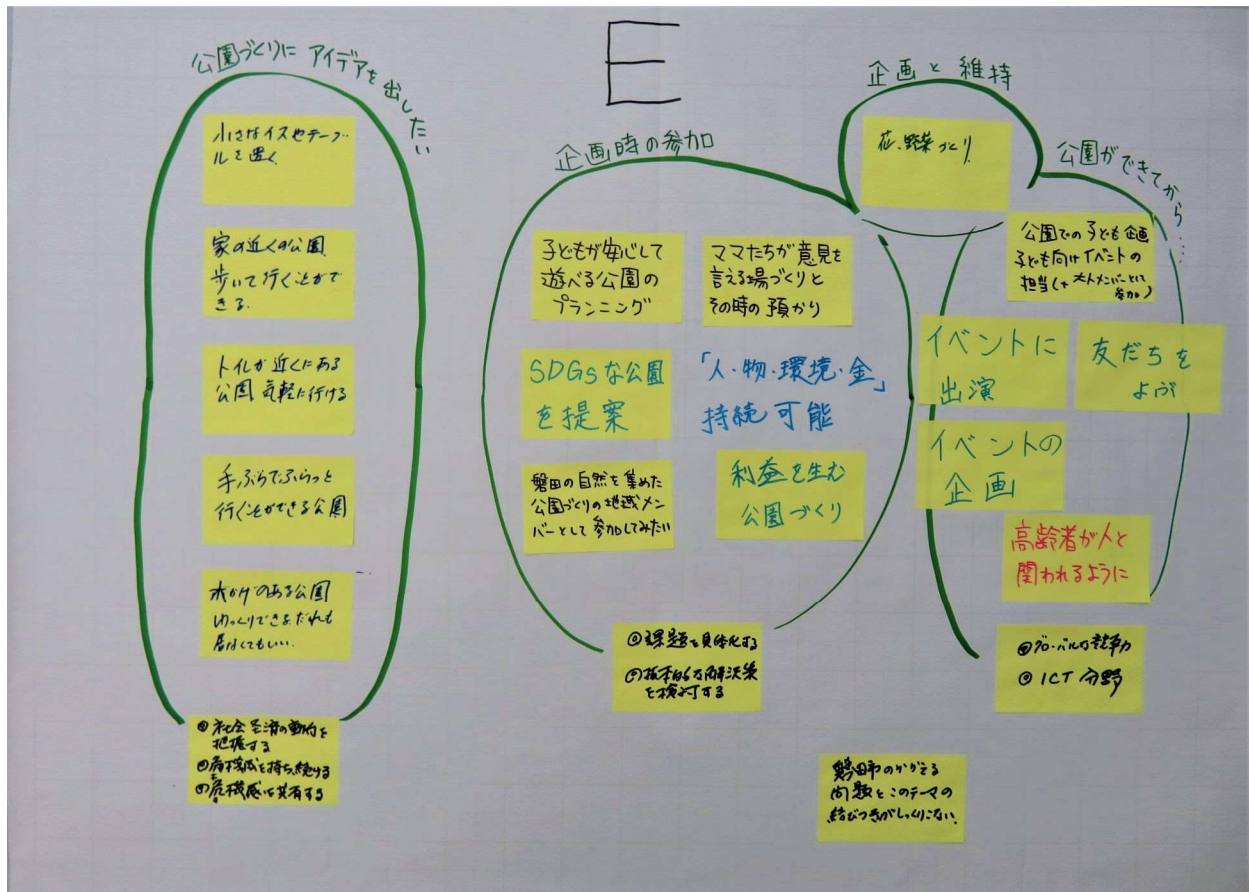
C



D



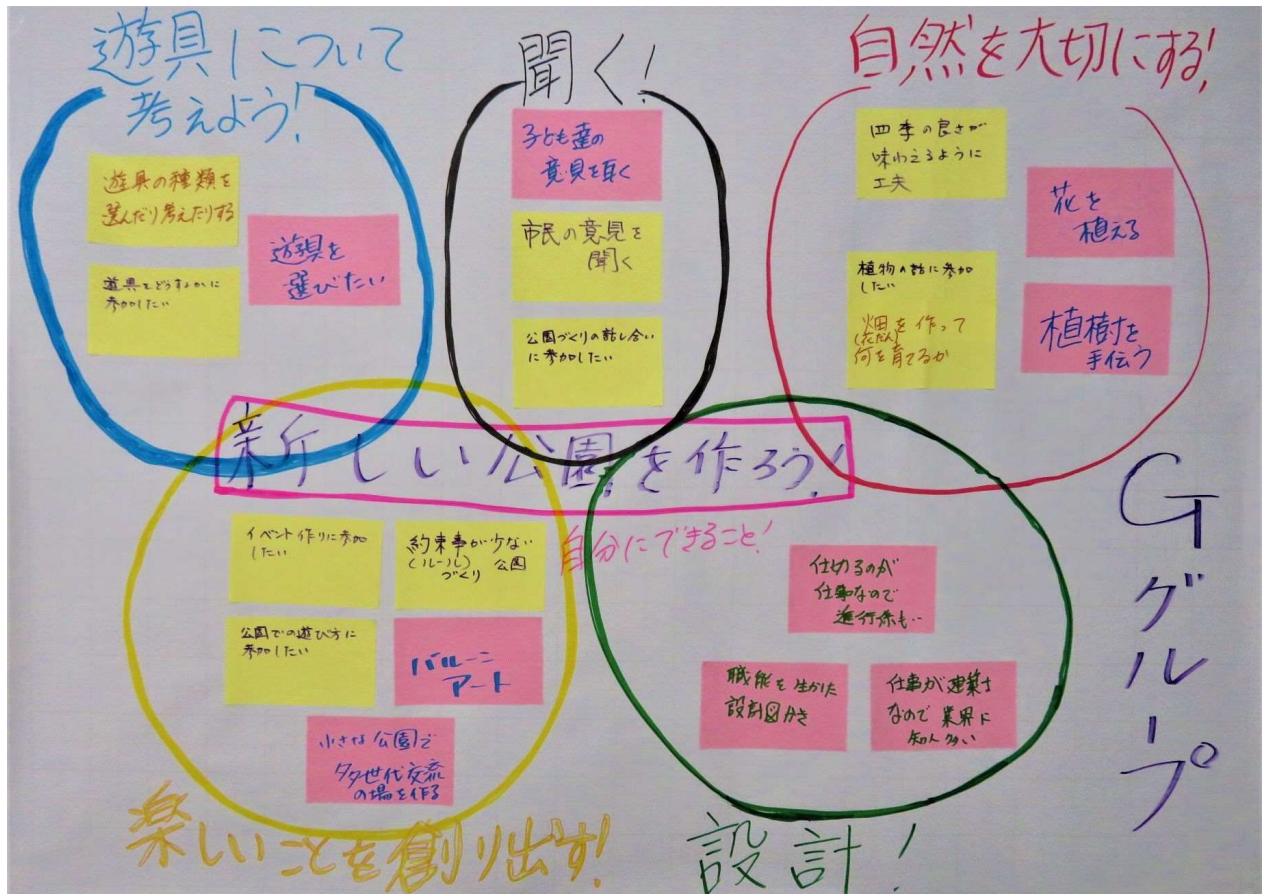
E



F



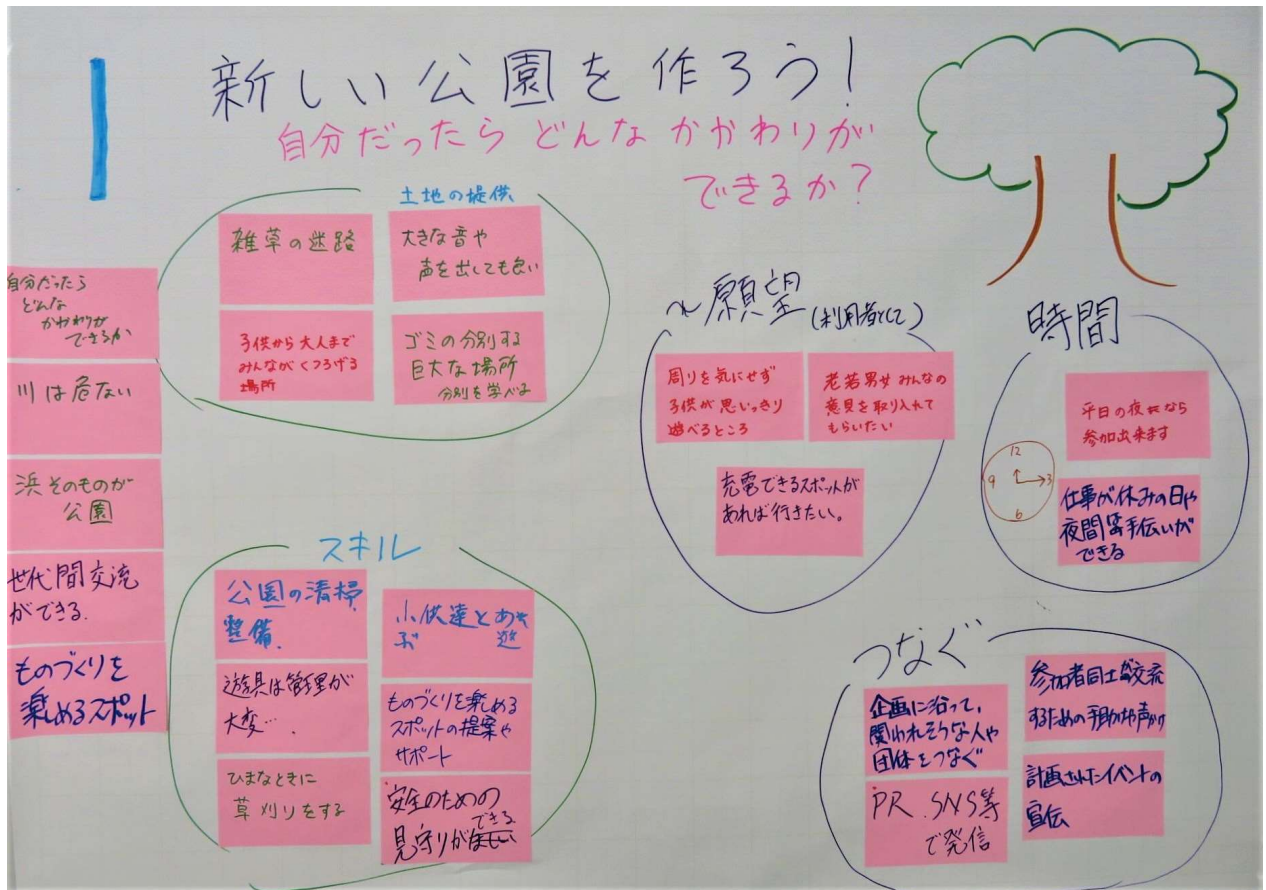
G

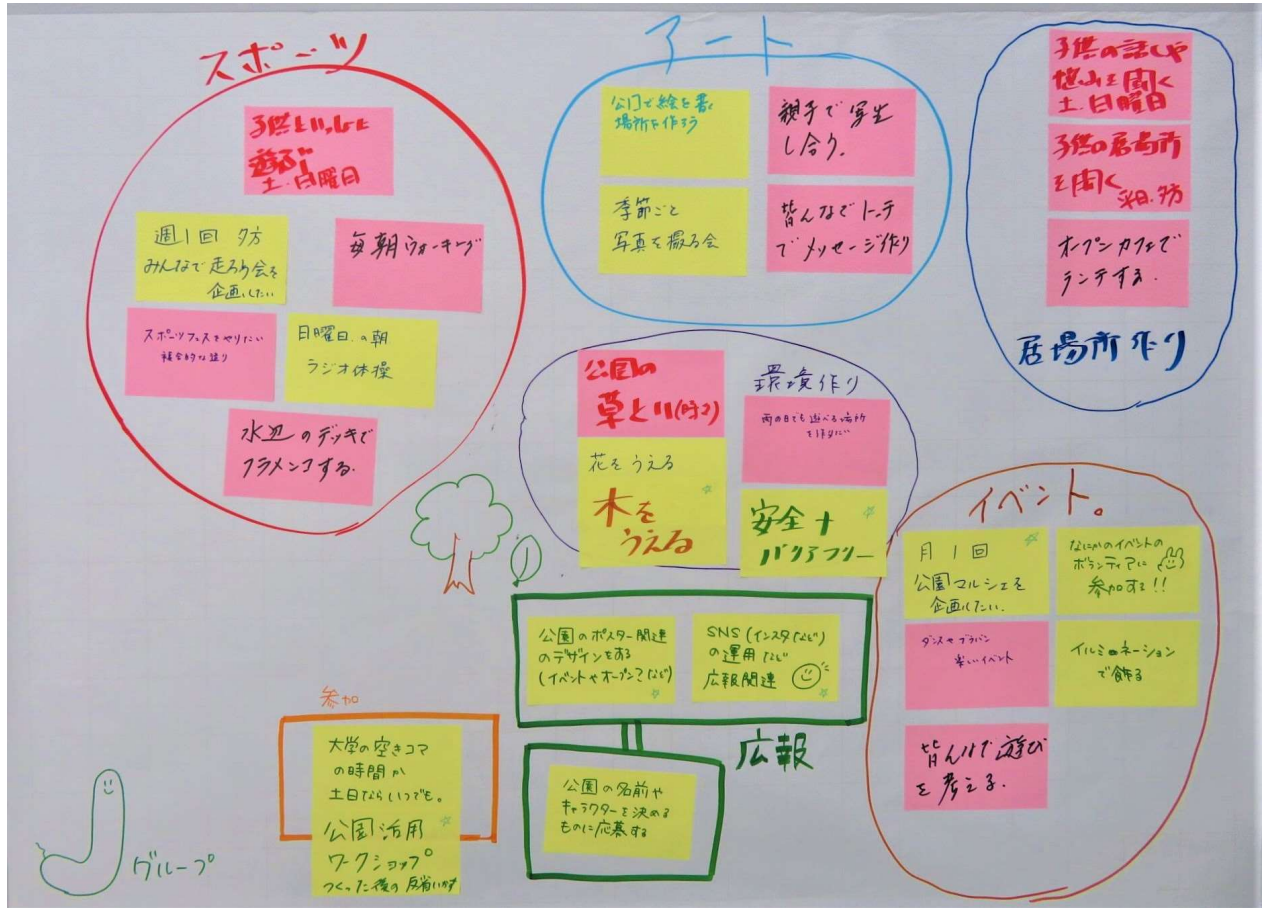


H

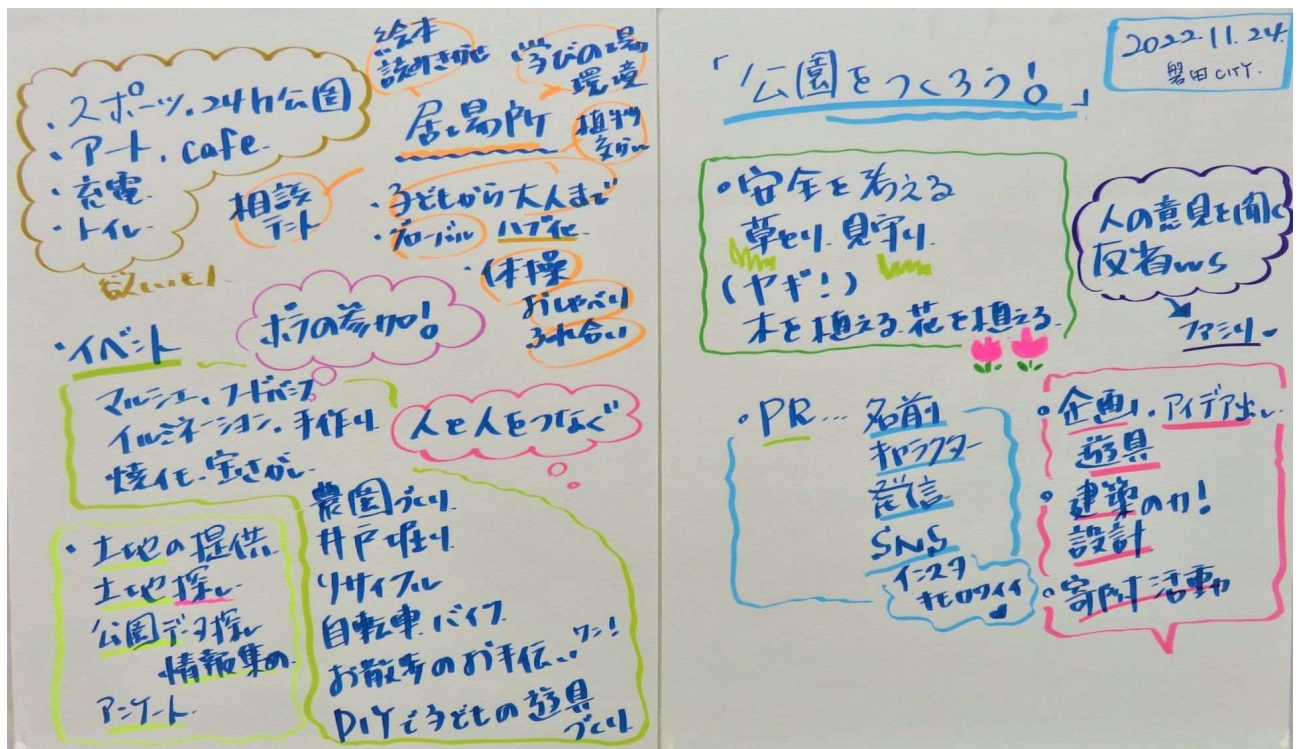


I





ファシリテーターによるまとめ



4 今後について

令和4年12月22日(木)10時から、第8回(仮称)磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会を開催し、第2回いわたまちづくりワークショップの振り返りを行います。

第3回いわたまちづくりワークショップの開催日時等は以下のとおりです。

開催日時：令和5年1月26日(木)19時～21時

開催会場：磐田市総合健康福祉会館 i プラザ2階ふれあい交流室

開催概要：目 標；「市民参加の意識を広げる」、「今回の関わりこそが“市民自治”と感じる」

テーマ；「対話を重ねることの必要性を考えよう！」

情報提供；「市民活動センターの役割」(条例策定検討委員より)

話し合い、発表、まとめ

事務局：磐田市地域デザイン推進室



主催：（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

第3回 いわたまちづくりワークショップ

報告

1 ワークショップの概要

（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会が主催となって、第3回 いわたまちづくりワークショップを開催しました。

ワークショップには、中学生、高校生、大学生、子育て世代のパパママ、働きざかりの方々など、幅広い世代の皆さんに、主催者である条例策定検討委員が加わり、今回はあわせて45名が参加。

第3回は、「市民参加の意識を広げる」、「今回の関わりこそが“市民自治”と感じる」が目標でした。「対話を重ねることの必要性を考えよう！」をテーマに、これからの磐田市を描くワークを通して、互いのイメージを共有しながら、対話の重要性をはじめみんなで関われること（協働）を考えてもらうことで、今回の多くの人との関わりを次に広げるとともに、少しの参加の必要性や楽しみを自分ごととして感じてもらいました。

開催日時：令和5年1月26日（木）19時～21時

開催会場：磐田市総合健康福祉会館 i プラザ 2階ふれあい交流室

参加対象者：応募者46名（うち男性27名・女性19名）

委員10名（うち男性7名・女性3名）

2 ワークショップの流れ

- 参加者を10グループ（1グループ5名程度）に編成
- 進行は原口佐知子ファシリテーター（MUSUBI代表、ファシリテーター普及協会認定ファシリテーター、牧之原市市民ファシリテーター）
- 磐田市市民活動センターのセンター長（条例策定検討委員）からの情報提供
「磐田市市民活動センターの役割」～活動、対話の重要性、ワークショップへの思い～
- 自己紹介
- 話し合い「（ワークテーマ：これからの磐田市を描こう!）」
- 発表
- まとめ

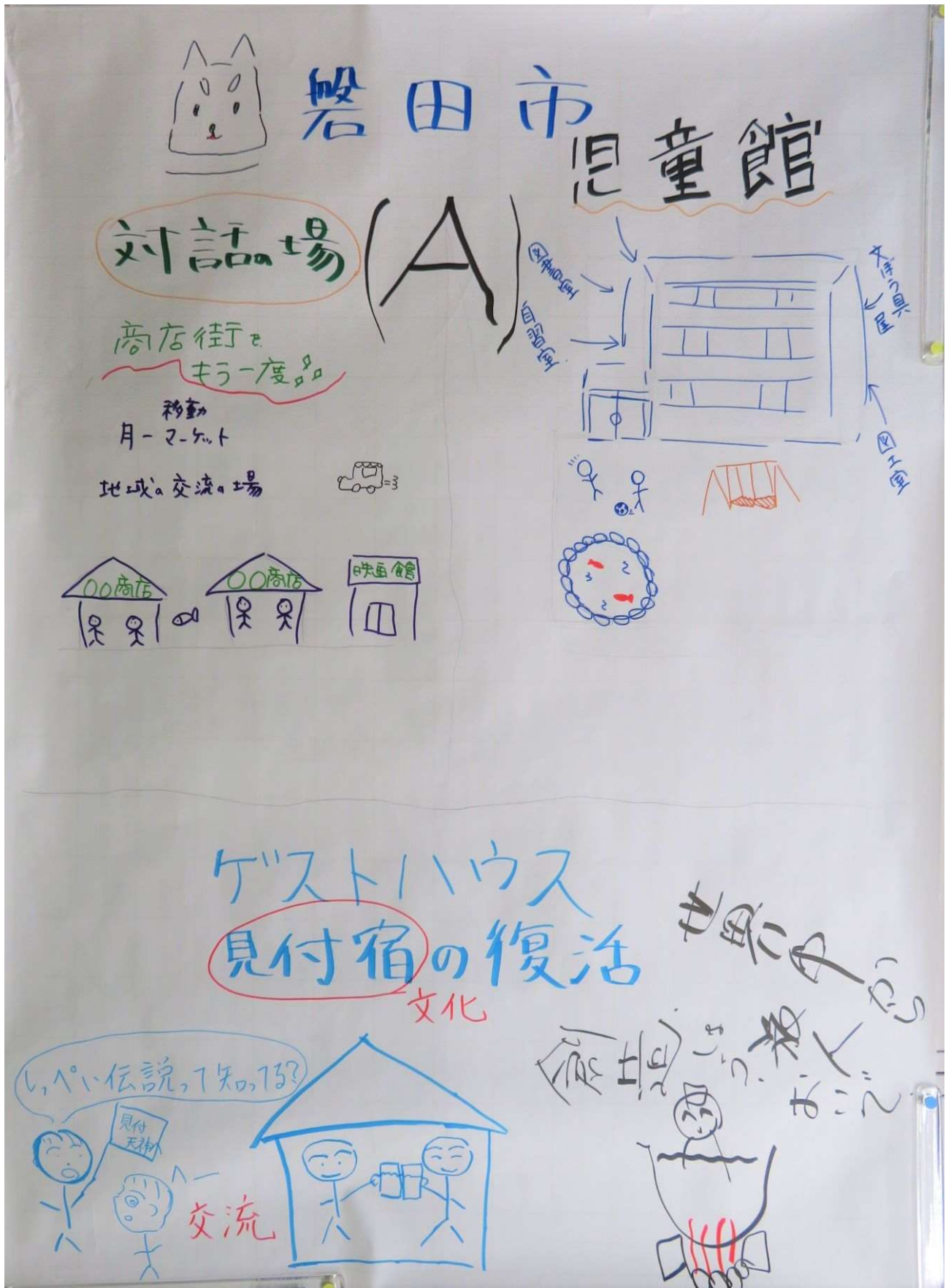
3 ワークショップの様子

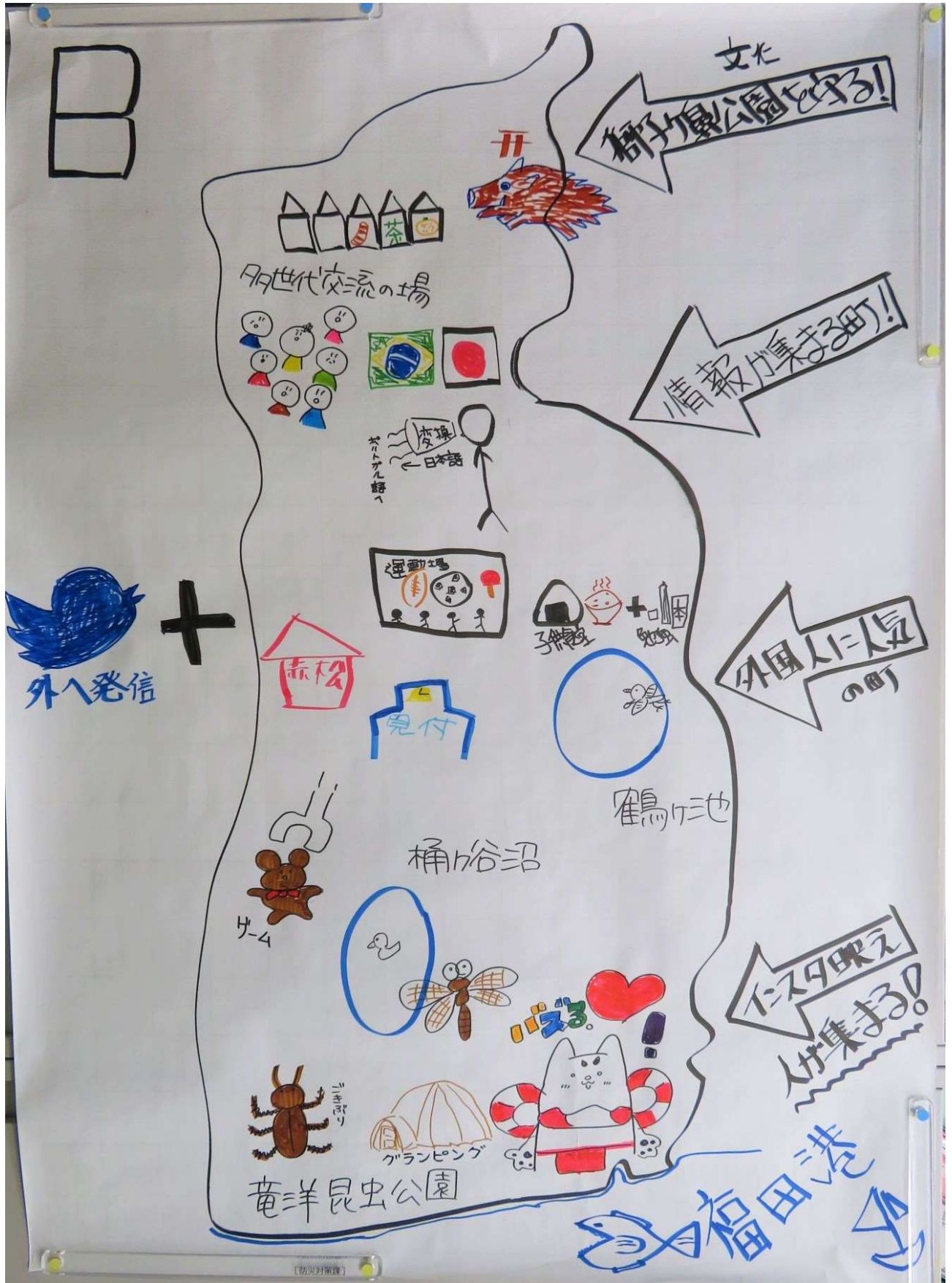




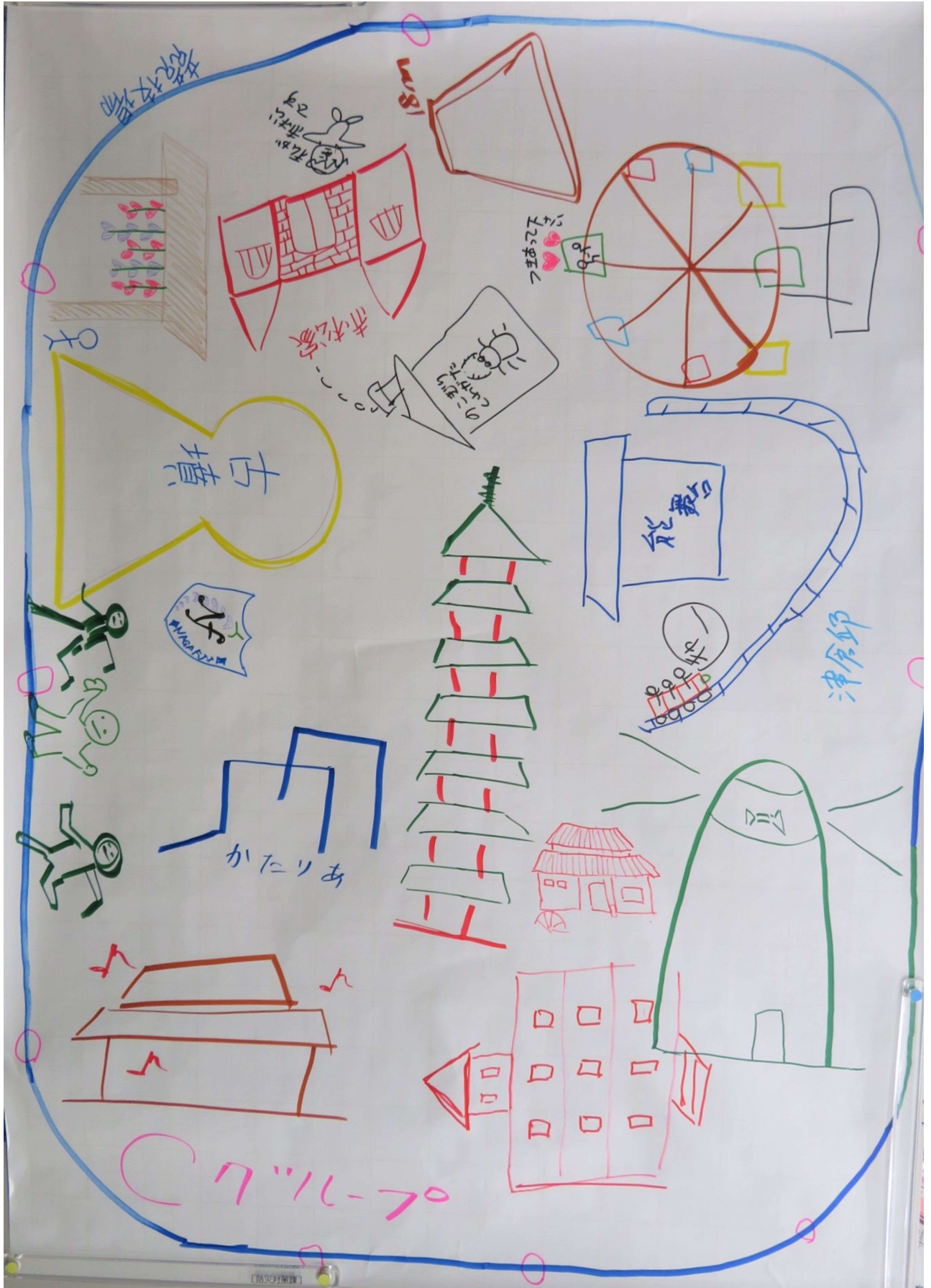
以降、グループの模造紙

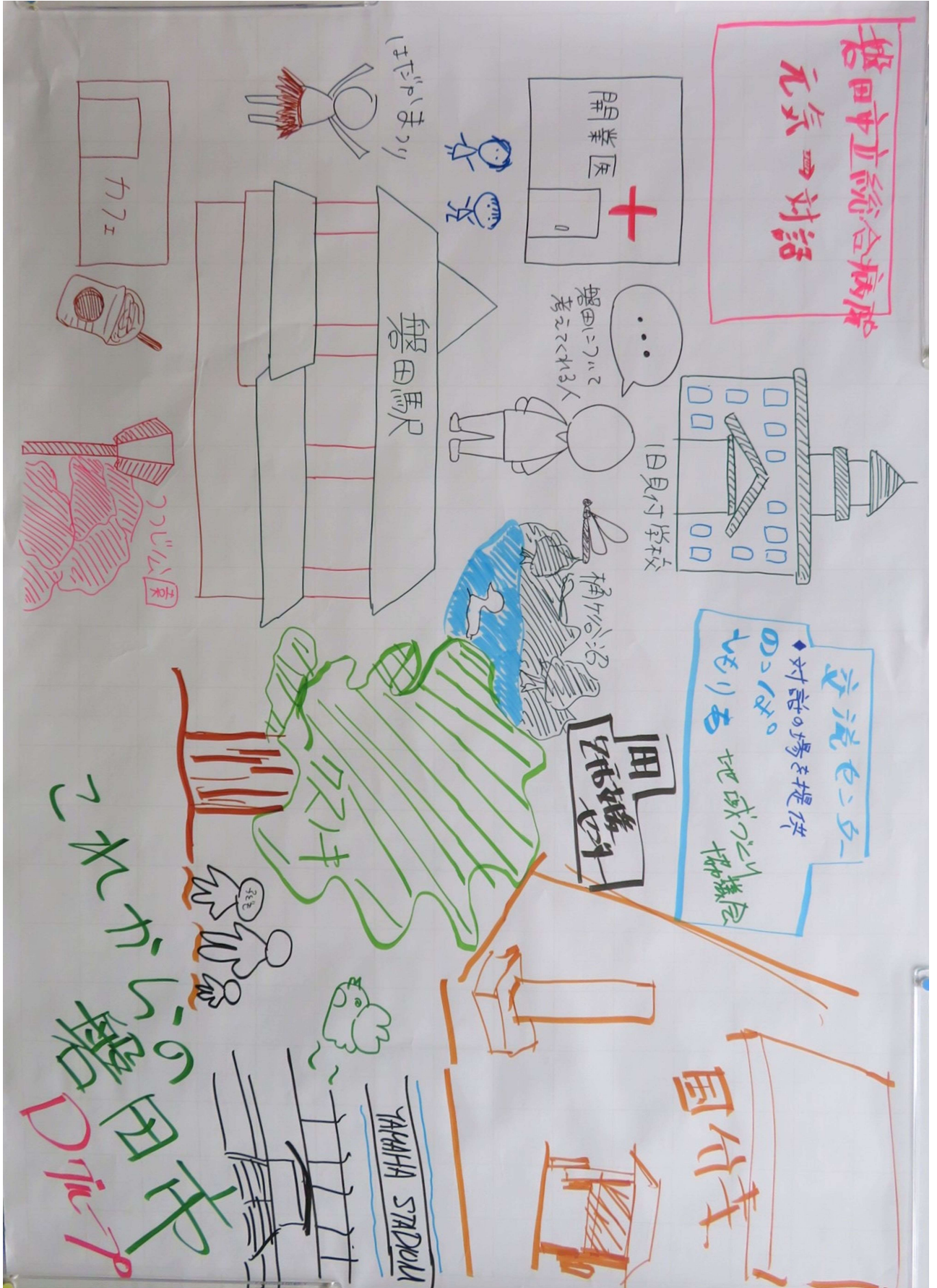
A

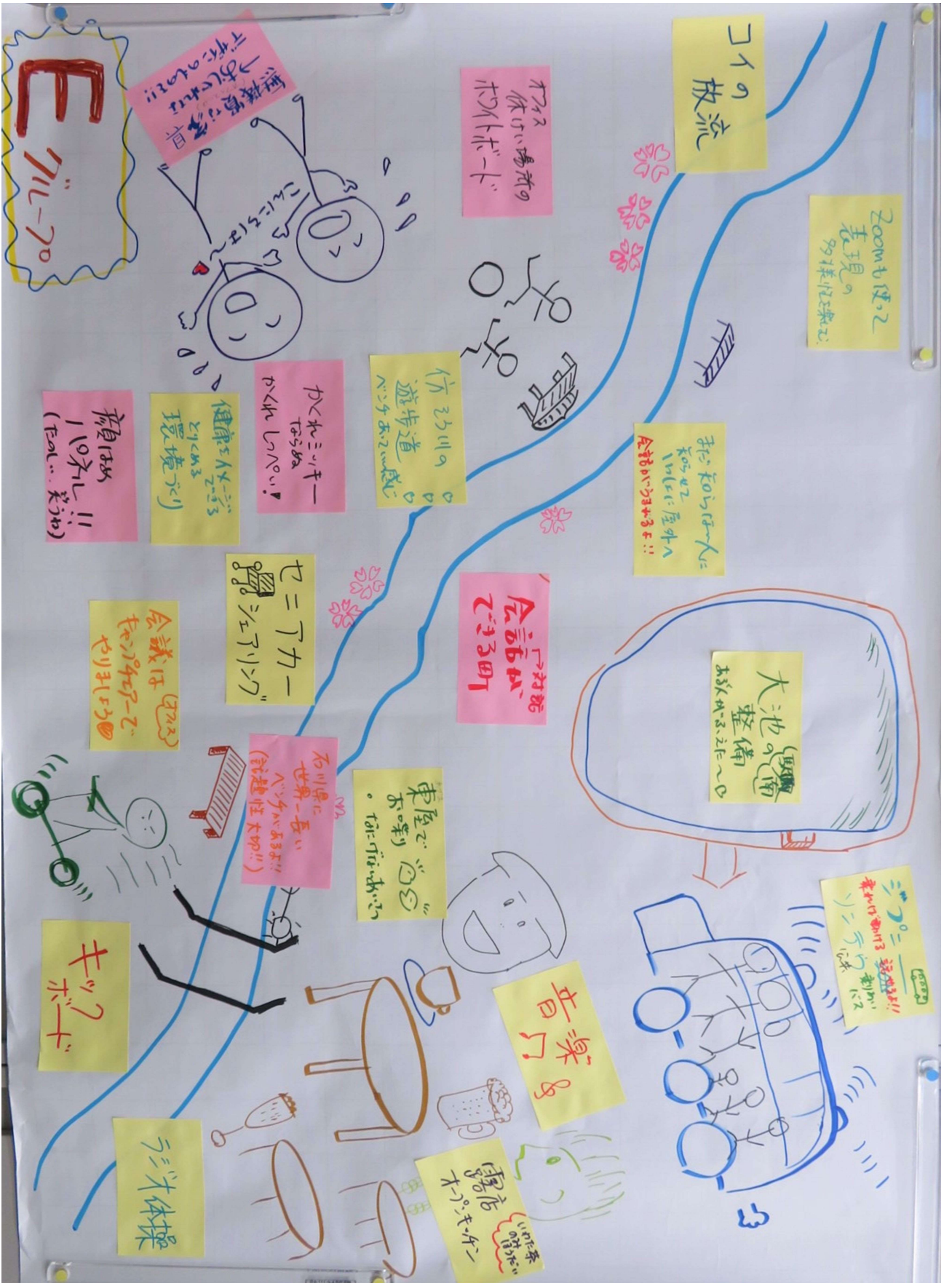




C



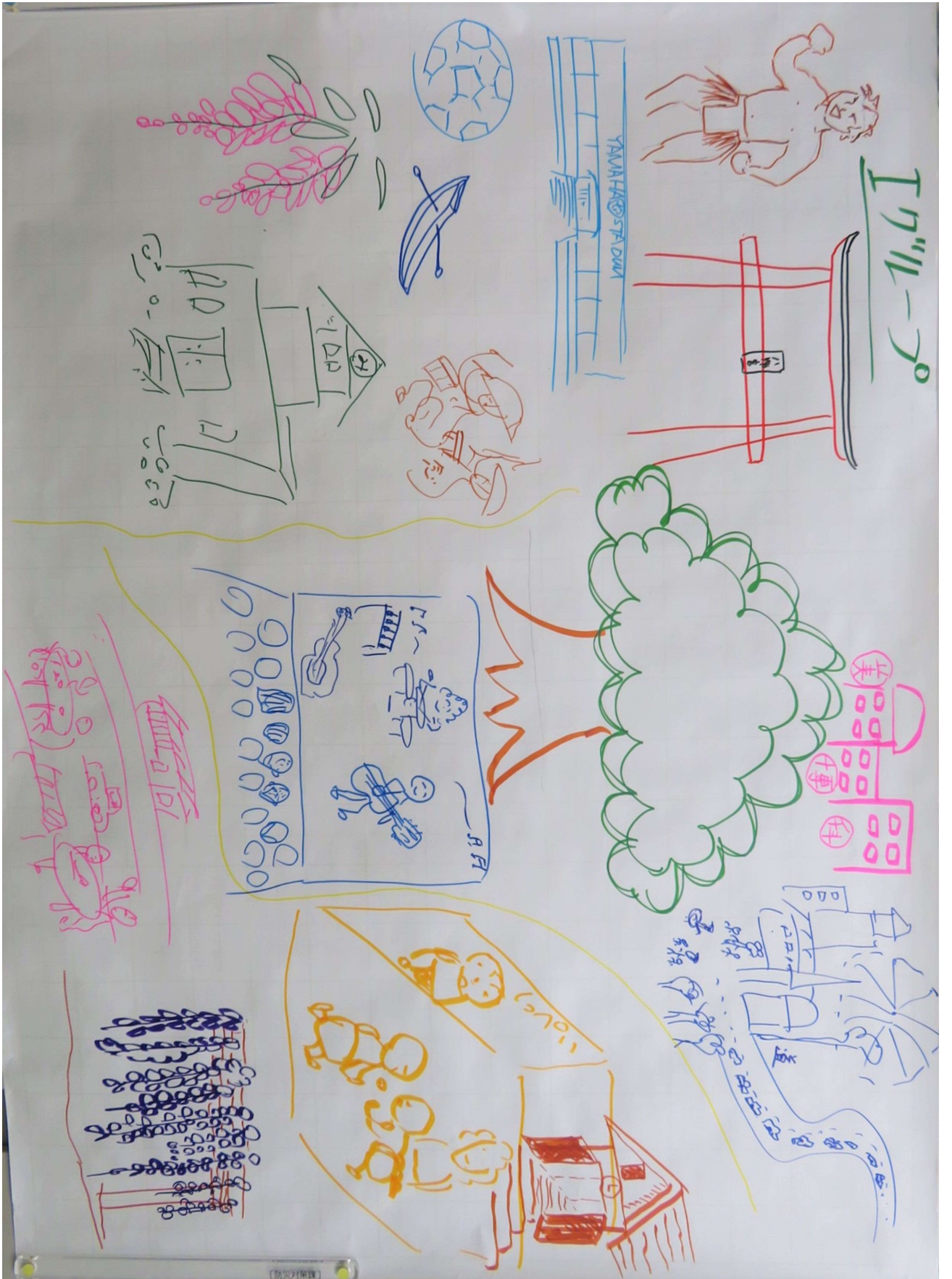


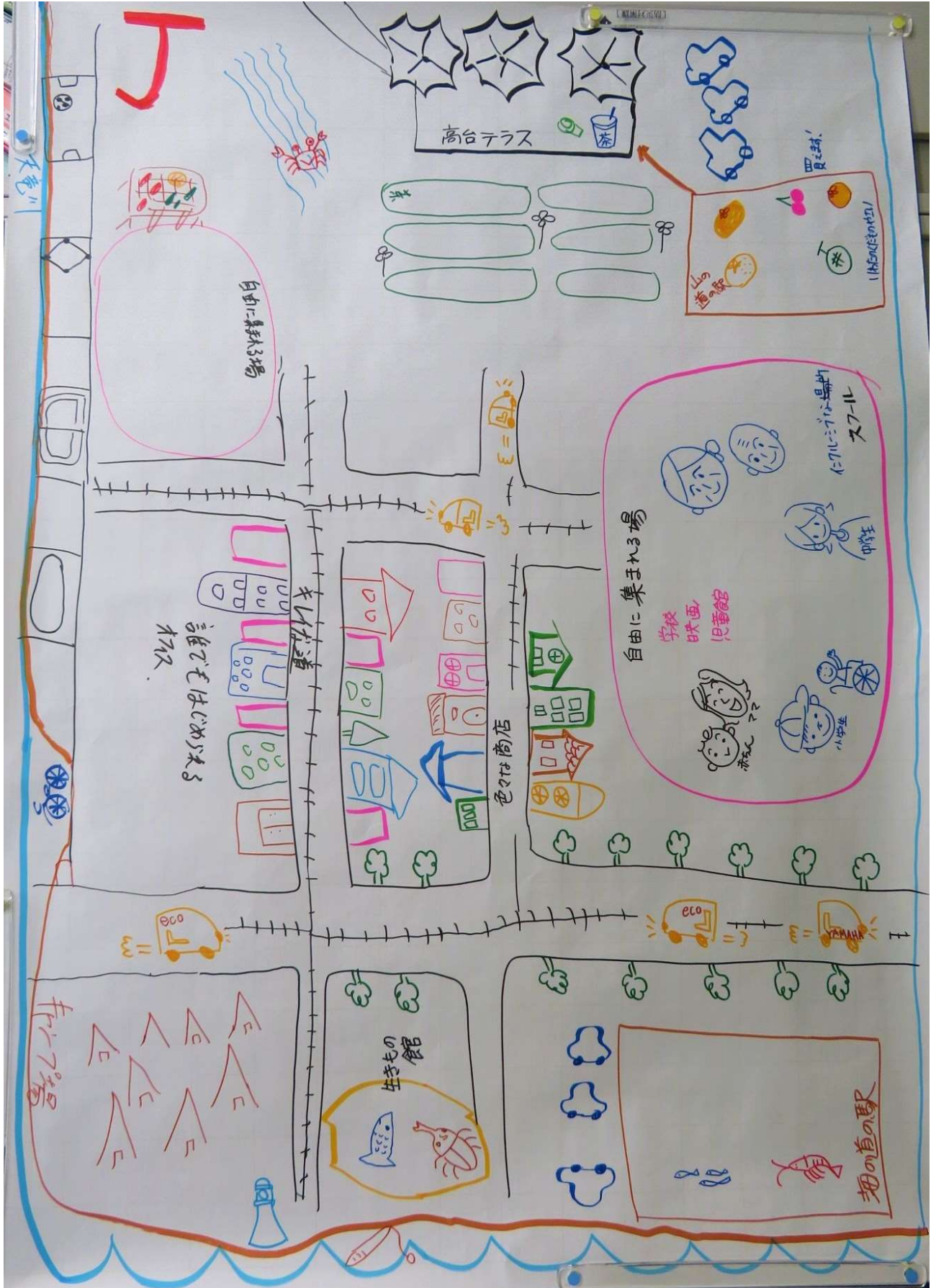












4 今後について

ワークショップを通じて、まちづくり条例や自分の住んでいる磐田市の現状を知り、市民自治や協働などについて学んでもらいました。また、大切なことは、“自分たちのまちを自分たちで考えること”、“補完し合う関係性”、“対話の積み重ね”であって、まちづくりとはその日だけの成果物ではないことを感じてもらいました。

この3回のワークショップを踏まえて、令和5年3月20日（月）13時30分から第9回（仮称）磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会を開催します。委員からはこのワークショップでの経験や学びをもう一步先に進めてみたいとの意見も出ており、令和6年4月の条例改正に向けて、進め方や条例素案のまとめ方などについて検討をしていく予定です。

事務局：磐田市地域デザイン推進室



第1回いわたまちづくりワークショップアンケート結果

アンケート「心に残ったワードを3つ以内」

回答 22/49

回答番号	申請方式	1つ目	2つ目	3つ目
22	用紙	自ら考え行動する	みんな仲間	できるできる
21	用紙	いいところ沢山	交流、人に変化が必要	
20	用紙	自然豊か	歴史文化のある街	地場産業を育成
19	用紙	自然	スポーツ	オール磐田
18	用紙	環境作り;線状降水帯対策見直し (新幹線ガード下水はけ)	教育;若者に心を育てる文化活動を (市民が自発的行動出来る機会を)	情報の共有 (地域間のコミュニティ図れる機会作り)
17	オンライン	新しい磐田市に気付く	市民との対話によって成される条例改正	居場所づくり→顔の見える関係を作ること
16	オンライン	市民一人ひとりが主役のまちづくり		
15	オンライン	NPOのコラボが大事	新しい時代に合ったまちづくり	子育て環境を良くしたい
14	オンライン	まちづくり基本条約	駅前	おだやかな人柄
13	オンライン	スポーツ	やさしい人	通学路
12	オンライン	変えたい人がたくさんいる	古い考え方の人達との共存	自分が出来る事を少しずつやっていく
11	オンライン	スペシャルゲストしっぺい	居場所作り	磐田の人は話しを聞かない
10	オンライン	居場所	歴史と文化	スポーツ人口
9	オンライン	若い力	交通の便利と不便	人の特徴は温厚と保守的
8	オンライン	コミュニティ	若い人が出ていく	
7	オンライン	若者	連携	活性
6	オンライン	多様な価値観	表裏一体	若者の自由な発想
5	オンライン	豊かな自然	程よく田舎	公共交通
4	オンライン	協働	インクルーシブ	ダイバシティ
3	オンライン	D&I(多様性、インクルジョン)	両面性(良い面、悪い面)	市民の力
2	オンライン	保守的	変化を嫌う	穏やか
1	オンライン	若者、若い世代	居場所、集まれる場所	市職員が保守的

第2回いわたまちづくりワークショップアンケート結果

アンケート「心に残ったワードを3つ以内」

回答 19/47

回答番号	申請方式	1つ目	2つ目	3つ目
19	用紙	積極的	皆さんの発言	一緒に考える
18	用紙	皆で考え話がまとまる事	幸せに生きる地域力に活かされる事	環境、防災、住人に役立つ事
17	用紙	関わり	参加	
16	用紙	居場所	協働	
15	用紙	自分が関わる事はなにか	進行はへたでも大丈夫	年齢、立場問わず意見を言える事が大事
14	用紙	課題解決	聞く	やる
13	オンライン	目的が違くと話し合いが成り立ちにくい	ジェネレーションギャップ	「磐田の人は話を聞かない」は気分が良くない
12	オンライン	人が幸せでいられる	色んな人がいる	自分たちごと
11	オンライン	五輪の色と配列が曖昧な記憶であった	年の差はあったが、十分な意見交換ができた	時間内に作業ができた
10	オンライン	自分ができることは意外に沢山ある	公園への想いは沢山ある	
9	オンライン	企画から市民参加	みんなでスポーツ	協働の大切さ
8	オンライン	せっかく前座で人口問題に触れたのでWSも磐田市の人口問題についてやってみたらどうかと思いました。街作りワークショップのためのワークショップと感じ残念に思ます		
7	オンライン	自分ごと	意見を出し合う	プレゼンテーション
6	オンライン	人口減少	子供から大人まで遊べる公園	公共施設の老朽化
5	オンライン	人が幸せに生きるまちづくり	利益をうむ公園	これまでの20年とこれからの20年はちがう
4	オンライン	話し合うことを癖付ける	自分が関われることはなんだろう	磐田の人はお話が好きだから…
3	オンライン	やらされているのではなく、みんなで楽しくできる	無理しなくていい	自分がやれること
2	オンライン	リバーサイドテラス	ワークショップ	
1	オンライン	協働	身近で出来ること	人が集まる

第3回いわたまちづくりワークショップアンケート結果

アンケート「心に残ったワードを3つ以内」

回答 19/45

回答 番号	申請 方式	1つ目	2つ目	3つ目
19	オンライン	世代をこえた憩いの場		
18	オンライン	多世代で交流	地域経済	顔の見える関係
17	オンライン	挨拶	何時でも寄れる語り場のある風景	ありがとう
16	オンライン	成果物	対話	多世代交流カフェ
15	オンライン	いわたまちづくりワークショップ一期生	多世代交流、老若男女が集まれる場所	市民が作る理想のまち
14	オンライン	対話を重ねることが大事		
13	オンライン	対話	多様な意見	話しやすい場づくり
12	オンライン	多世代が集まるまち	まちカフェ	
11	オンライン	中2の参加者から、『児童館が欲しい』	草都市長の『みんなのびのび発言を』	楽しく、良く聴いて
10	オンライン	3回目で気づいた参加者の目的とファシリテーターの意図の乖離	自分は違うスタイルの市民ファシリテーターになると決意	期待はずれ
9	オンライン	市民自治	老若男女	対話のば作り
8	オンライン	対話の場	顔の見える関係	仲間を増やす
7	オンライン	バズる	オシャレ	自然
6	オンライン	多様性	対話	私たちができること
5	オンライン	対話	協働	
4	用紙	対話によるまちづくり	市民自治	ファシリテーション
3	用紙	ワークショップ	喫茶店	子供が球技の出来る広場
2	用紙	自分たちで	やるゾー	集まって対話
1	用紙	地域づくり(環境含む)	対話	若い人を育てる

(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会



条例施行に向けて、これからの進め方（案）

これまで

年度	指針・条例等	中間支援	事業
H12		磐田NPO交流センター開設	
H13			まちづくりネットワーク通信創刊
H14			まちづくりサポーター制度運用開始
H17			磐田未来会議
H18	<u>協働によるまちづくりにむけての指針</u>		協働のまちづくり会議 協働のまちづくりシンポジウム
H19		協働のまちづくりパイロット事業 (お宝再発見)	
H20		協働のまちづくり事業 (いわた検定)	協働のまちづくり推進条例検討委員会 協働のまちづくりシンポジウム
H21	<u>協働のまちづくり推進条例施行</u>	いわた市民活動センター (名称変更) 協働のまちづくり事業 (お宝見聞帳)	協働のまちづくり推進委員会 (年4回) 協働のまちづくり提案事業 まちサポ
H22	市民活動センター条例施行	磐田市市民活動センター (名称変更)	協働のまちづくり推進委員会 (年3回) 協働のまちづくり提案事業
H23		市民活動フォーラム&ネットワーキング交流会	協働のまちづくり推進委員会 (年3回) 協働のまちづくり提案事業
H24		NPO法人磐田まちづくりネットワーク ・円卓会議 ・のっぽともしあ通信創刊 ・協働シンポジウム&ネットワーキング交流会	協働のまちづくり推進委員会 (年2回) 協働のまちづくり提案事業

年度	指針・条例等	中間支援	事業
H25	新たな「地区活動拠点」意見交換会	市民活動フェスタ	協働のまちづくり推進委員会（年3回） 協働のまちづくり提案事業 市民活動団体一覧（第1版）
H26		まちサポ・ボランティアセンターの社協と協働運営のための協議	協働のまちづくり推進委員会（年3回） 協働のまちづくり提案事業 市民活動団体一覧（第2版）
H27	交流センターオープン 地域づくり協議会設立（～H29）	まちサポ・ボランティアセンターの社協と協働運営のための協議	磐田市協働のまちづくり会議 市民活動団体一覧（第3版）
H28		中学生ボランティア養成講座 子ども若者ネットワーク連絡会設立支援	協働のまちづくり推進委員会（年3回） 協働のまちづくり提案事業 市民活動団体一覧（第4版）



NPO等が中心の協働のまちづくりから、市民一人ひとりが主役のまちづくりへ向けて

- 市民自治によるまちづくり
- 市民、自治会、地域づくり協議会等の定義と役割
- 市の責務と施策
- 人材の確保と育成など・・・



農協と協議会が協力し、
農産物直売所「ふくの市」
における買い物支援

高齢者の買い物の場を設けたことで住民同士の交流機会に



まち美化パートナー制度



青少年健全育成、
中学生ボランティアの育成

令和元年度～ (仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例庁内検討会

令和2年度～ (仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例策定検討委員会

年度	月日	委員会等	内 容
R1	3.12	第1回庁内検討会	他市の事例から見る自治基本条例とは 磐田市協働のまちづくり推進条例とは (仮称) 自治基本条例に入れ込みたい内容について 地域の現状と課題について
R2	4.28	第2回庁内検討会	(仮称) 自治基本条例に入れ込みたい内容について 地域の現状と課題について
	6.2	第3回庁内検討会	磐田市が目指す方向性について 条例策定検討委員会について 条例制定後について「実効性の確保と進捗管理」
	7.16	第4回庁内検討会	「地域との協働により進める施策・事業の調査」結果について 条例の実効性確保について 条例策定検討委員会の状況について
	8.5	第1回策定検討委員会	磐田市における地域づくり活動の概要説明 条例策定の方針と今後のスケジュール
	10.13	第5回庁内検討会	(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例の骨子について意見交換
	10.28	第2回策定検討委員会	(仮称) 磐田市協働のまちづくり基本条例の骨子について意見交換
	12.14	第3回策定検討委員会	条例案について 条例名について
	2.10	第6回庁内検討会	条例素案について 条例解説書について

年度	月日	委員会等	内 容
R3	6.3	第4回策定検討委員会	これまでの経過及び今後の進め方について 条例素案について
	8.3	第7回庁内検討会	これまでの経過及び今後の進め方について 条例素案について 地域づくり関係情報の提供・交換
	3.25	第5回策定検討委員会	これまでの経過について 前回の委員会における意見等の対応及びアンケートの状況について 今後の予定について → 市民ワークショップについて提案
R4	6.28	第8回庁内検討会	これまでの経過及び条例素案について 今後の進め方について 地域づくり関係情報の提供について
	7.13	第6回策定検討委員会	これまでの経過について 今後の進め方について → 市民ワークショップの開催決定
	9.30	第1回いわたまちづくりワークショップ	
	10.21	第7回策定検討委員会	第1回ワークショップの振返り 第2回ワークショップに向けて 地域づくり関係情報の提供について
	11.24	第2回いわたまちづくりワークショップ	
	12.22	第8回策定検討委員会	第2回ワークショップの振返り 第3回ワークショップに向けて その他
	1.26	第3回いわたまちづくりワークショップ	
	3.14	第9回庁内検討会	
	3.20	第9回策定検討委員会	

令和6年4月の条例施行を目指して

(別紙カレンダーを参照)

- いわたまちづくりワークショップの継続開催
 - ・ 開催主体
 - ・ 開催概要 (テーマ)
 - ・ 開催時期
 - ・ 開催回数

- 策定検討委員会、庁内検討会の開催予定

- 議会上程までの流れ
 - ・ 議員説明
 - ・ パブリックコメント
 - ・ 例規案提出
 - ・ 議会上程